

自らを聖別する

(ローマ12・1、2)

一、神のあわれみによる勧め

1節を見てまいります。〈ですから、兄弟たち、私は神のあわれみによって、あなたがたに勧めます。〉とあります。元の文章は〈あなたがたに勧めます〉から始まっています。したがって、1節、2節は、パウロによる〈勧め〉の言葉と言えます。改訂第3版は〈あなたがたにお願いします〉という日本語が充てられています。そういう意味もあるからです。

では、何ゆえに、パウロはローマの信徒に、〈あなたがたに勧めます〉〈あなたがたにお願いします〉と語っているのでしょうか。それは、イエス・キリストによって〈神のあわれみ〉があらわされたからです。神は救い主イエス・キリストを遣わされ、この方に、罪人に下る罰をくだされました。そしてイエス・キリストを信じるだけで救われる道を備えられました。それが〈神のあわれみ〉です。そういう神のあわれみを知って、キリストを信じる者は次のようにしなさいと、使徒パウロは勧めています。

二、「からだ」を献げる

では、具体的に何を勧めているのでしょうか。それは、わたしたちの「から

だ」を献げることです。1節2文目を見てまいります。〈あなたがたのからだを、神に喜ばれる、聖なる生きたささげ物として献げなさい。〉とあります。この聖句により、イエス・キリストを信じる私たちが、どのような活動をしたら良いのかが見えてまいります。教会は、基本としては自由ですが、キリストのからだとしてふさわしく行動する必要があります。自分たちが行おうとしている企画が〈神に喜ばれる〉ものであるかを、吟味する必要があります。

聖句の続きに戻りますが、〈聖なる生きたささげ物として献げなさい〉と語られています。私たちが神にささげる献げものは〈聖なる〉ものである必要があります。すなわち、聖別されたものです。言い方を変えるなら、祈って御霊に導かれた発想、あるいは御霊に導かれて閃いたことを目指す必要があります。

続いて〈生きたささげ物として献げなさい〉とあります。「からだ」が生きていること、すなわち教会が聖霊によって生かされているのは、とても大切です。こればかりは、肉の力でどんなにがんばっても御霊から来る命にはなり得ません。ましてや、世の中の元気を持ち込んで教会を活性化させようとするなら、やがて頭を抱える結果になることでありましょう。旧約のレビ記に書かれています。アロンの子ナダブとアビフ

はそれぞれ自分の火皿を取り、中に火を入れ、上に香を盛って、主が彼らに命じたものではない異なる火を主の前に献げた。すると火が主の前から出て来て、彼らを焼き尽くした。それで彼らは主の前で死んだ。と。教会も同じです。私たちは、聖霊の注ぎにより、〈からだを(略)生きたささげ物として献げ〉る必要があります。そういう信仰生活に導かれるなら、1節3文目の〈それこそ、あなたがたにふさわしい礼拝です。〉になります。この聖句は、改訂第3版では〈それこそ、あなたがたの霊的な礼拝です。〉でした。元の意味は何なのでしょう。か。「ロギコス」という、「ロゴス」から派生した言葉が使われています。「ロゴス」には、「ことば」の他に「理性」「道理」の意味もあります。そういうわけで「ロギコス」は「理に適った」の意味になります。「それこそ、あなたがたの、理に適った礼拝です」の意味です。

三、世によって形づくられない

2節をご覧ください。〈この世と調子を合わせてはいけません。〉とあります。元の意味は「この世によって形づくられてはならない」です。私たち人間は、生きている限り影響を受けます。また、影響を与えます。人間とは、そういう存在です。ならば、どんな影響を受けるか、注意を払う必要があります。例えば、きょうは、父・子・聖霊なる神に礼拝を献

げるために集まっています。礼拝では賛美が献げられ、祈りが献げられ、使徒信条を唱えます。そして、メッセージが語られます。当然、大なれ小なれ、聖霊なる神の影響を受けます。私たちの思いは聖霊によって形づくられます。ですが、ふだんの日常生活に戻りますと、その途端、世の影響にさらされます。当然、意識無意識の内に、この世によって形づくられやすくなります。そうならないために、何が必要なのでしょう。か。聖句に耳を傾けてまいります。2節2文目に、〈むしろ、心を新たにすること、自分を愛していただきなさい。〉とあります。心を新たにすることは、思いや考えを新しくすることです。主が成してくださった善き業を受け止めて、思いや考えを新しくすることです。神がなさったことを思い起こし、「神さま救い主イエス・キリストをお遣わしくださったことを感謝します」と何回も口で言い表してください。こうして、神の恵みを口で言い表し、自分の思いとし、〈自分を愛していただく〉ように勧められています。以上を知るなら、2節3文目は読むだけで意味が分かると思われまます。〈そうすれば、神のみこころは何か、すなわち、何が良いことで、神に喜ばれ、完全であるのかを見分けるようになります。〉です。私たちの思いが聖霊にコントロールされるなら、神の御思いが分かるようになります。